

アンケート調査 質問項目

【保育者用】

I ご回答いただく方のご勤務先についておうかがいたします。

Q1. 現在のご勤務先の施設種別を教えてください。

- 認可保育所 幼保連携型認定こども園 保育所型認定こども園
幼稚園型認定こども園 その他

Q2. 現在のご勤務先が所在する都道府県を教えてください。

※北海道～沖縄県の47都道府県からの選択式

Q3. ご回答頂いている方の担当クラス（年齢）を教えてください。

- 0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 フリー 障がい児等の担当 その他

Q4. ご回答頂いている方の勤務年数（保育施設でのトータル）を教えてください。

- 3年未満 3～5年未満 6～10年 11～20年 21年以上

Q5. ご回答いただいている方の性別を教えてください。

- 女性 男性 答えない

Q6. 現在の勤務先の保育形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 年齢別保育（特に異年齢保育としての取り組みはしていない）
年齢別保育を基本としながら、部分的に異年齢保育を取り入れている
4歳と5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別）
3歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別）
2歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別 or していない）
1歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別 or していない）
0歳～5歳の異年齢保育を行っている
その他

Q7. 現在のご勤務先について、あてはまるものをすべて選んでください。どの選択肢もあてはまらない場合は、「どの選択肢もあてはまならない」を選んでください。

- 子ども数に対して、だいたい十分な園舎内・保育室内の広さがあると思う
子ども数に対して、だいたい十分な園庭の広さがあると思う
自園には園庭が無い

- 自園の周辺には、散歩で行くことのできる魅力的な環境があると思う
- 近隣地域の人々と自園との交流はよくある方だと思う
- 保護者会など保護者の組織がある
- 保護者同士の立ち話などの交流はよくある方だと思う
- 保護者と保育者の立ち話などの交流はよくある方だと思う
- どの選択肢もあてはまらない

Q 8. ご勤務先の職員同士で子どもや保育の話をどの程度しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- よくする
- ときどきする
- あまりしない

Q 9. ご勤務先の職員同士で子どもや保育の話をするとき、「おもしろい」「たのしい」と感じることはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- よくある
- ときどきある
- あまりない

Q 1 0. ご勤務先であなたの個性や特技は生かされている（認められている）と思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- とてもそう思う
- だいたいそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

II ご勤務先の保育の流れや環境についておうかがいたします。ご回答の時期にかぎらず、年間を通した傾向でお答えください。

Q 1 1. 担当クラスの子どもたちが自由に遊べる時間は、1日トータルでどのくらいですか。

- 1時間以内
- 1～2時間程度
- 2～3時間程度
- 3時間以上

Q 1 2. 担当クラスの戸外での活動・遊びは週にどのくらい行われていますか。

- 週に1日未満
- 週に1～2日
- 週に3～4日
- ほぼ毎日

Q 1 3. 担当クラスの子どもたちは、自由な遊びの時間に、室内での遊びと戸外での遊びを行き来できますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 子どもが自分で判断して行き来できる
- 保育者に許可を得れば行き来できる
- 子どもが室内か戸外かを決めるが、行き来はできない
- 保育者が室内か戸外かを決める
- その他

Q14. 保育室内の玩具や道具、素材、環境等は、担当クラスの子どもが自分で選んで使用したり、関わったりできるようになっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- だいたいできる 多少できる あまりできない ほとんどできない

Q15. Q14で「あまりできない」か「ほとんどできない」を選択した方におうかがいします。その理由はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（「だいたいできる」「多少できる」を選んだ方はQ16へ）

- 年齢・発達の適切ではないと思うから
 安全を確保できないなど環境的な理由
 園の方針だから
 これまでずっとそうだったから
 片づけが大変だから
 その他

Q16. ご勤務先の園では以下のような行事がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。ご自身が担当するクラスだけでなく、園全体のことです。どの選択肢もあてはまらない場合は、「どの選択肢もあてはまらない」を選んでください。

- 運動会（あるいは、体を動かすことを主とする行事）
 生活発表会（あるいは、表現することを主とする行事）
 保護者の保育参観（保護者は子どもの様子を見るだけ）
 保護者の保育参加・体験（保護者が保育の中に入り、一緒に活動する）
 保護者が企画から参加する行事（運動会・発表会等での一部企画も含めて）
 どの選択肢もあてはまらない

Q17. Q16で「運動会」「生活発表会」のいずれか、あるいは両方を選んだ方におうかがいします（選ばなかった方はQ19へ）。それらの行事を行う意義・意図はどのようなものですか。ご自身が担当するクラスだけでなく、園全体のことです。各項目について、「あてはまる」～「あてはまらない」の選択肢の中から1つ選んでください。

（あてはまるーだいたいあてはまるーどちらともいえないーあまりあてはまらないーあてはまらない）

- 子どもが困難な課題を乗り越えること
 保護者が子どもの成長を知ること
 子どもが楽しむこと
 保護者が楽しむこと
 保育者が楽しむこと

- 保護者に子どもの出来栄を見せること
- 保護者同士が交流する機会
- 保育者と保護者が交流する機会

Q18. Q16で「運動会」「生活発表会」のいずれか、あるいは両方を選んだ方におうかがいします（選ばなかった方はQ19へ）。担当クラスでの取り組み（練習）期間はどのくらいでしょうか（担当クラスは運動会や生活発表会に参加しない場合はQ19へ）。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1か月以上
- だいたい2～3週間
- だいたい1～2週間
- 1週間未満
- 特に練習的なことはしない
- その他

Ⅲ 子どもたちの関係性や集団としての育ちについてのお考えをおうかがいします。なお、「関係性や集団としての育ち」とは、必ずしも大人数での活動や遊びができることに限りません。

Q19. 担当クラスに限らず、乳幼児期の子どもたちの関係性や集団としての育ちにおいて、以下の各項目はどの程度重要だと思えますか。項目ごとに「あてはまる」～「あてはまらない」の選択肢の中から1つを選んでください。

（あてはまる－だいたいあてはまる－どちらともいえない－あまりあてはまらない－あてはまらない）

- 保育者との愛着が形成されること
- 生活リズムが整うこと
- 基本的な生活習慣（身辺自立）を身につけていること
- 全体に対する指示や話を集中して聴けること
- 失敗が許容される雰囲気があること
- 一人一人の興味や遊びが保障されていること
- 支度や給食で遅れないように行動できること
- 子どもが「やりたくない」と言いやすい環境があること

Q20. 子どもたちの関係性や集団としての育ちを考える上で、ご自身が保育において大切にしてきたことがあれば教えてください。特にない場合は空欄で結構です。（自由記述）

以上

【管理職用】

I ご回答いただく方のご勤務先についておうかがいたします。

Q1. 現在のご勤務先の施設種別を教えてください。

- 認可保育所 幼保連携型認定こども園 保育所型認定こども園
幼稚園型認定こども園 その他

Q2. 現在のご勤務先が所在する都道府県を教えてください。

※北海道～沖縄の47都道府県からの選択式

Q3. ご回答いただいている方の役職を教えてください。

- 園長・理事長 副園長・教頭 主任・主幹 その他

Q4. 現在の勤務先の保育形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 年齢別保育（特に異年齢保育としての取り組みはしていない）
年齢別保育を基本としながら、部分的に異年齢保育を取り入れている
4歳と5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別）
3歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別）
2歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別 or していない）
1歳～5歳の異年齢保育を行っている（他は年齢別 or していない）
0歳～5歳の異年齢保育を行っている
その他

Q5. 現在のご勤務先について、あてはまるものをすべて選んでください。どの選択肢も

あてはまらない場合は、「どの選択肢もあてはまならない」を選んでください。

- 子ども数に対して、だいたい十分な園舎内・保育室内の広さがあると思う
子ども数に対して、だいたい十分な園庭の広さがあると思う
自園には園庭が無い
自園の周辺には、散歩で行くことのできる魅力的な環境があると思う
近隣地域の人々と自園との交流はよくある方だと思う
保護者会など保護者の組織がある
保護者同士の立ち話などの交流はよくある方だと思う
保護者と保育者の立ち話などの交流はよくある方だと思う
どの選択肢もあてはまらない

Q6. ご勤務先の職員の方々は、職場で子どもや保育の話をどの程度していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

よくしている ときどきしている あまりしていない

Q7. ご勤務先の職員の方々は、職場で雑談やプライベートな話をどの程度していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

よくしている ときどきしている あまりしていない

Q8. ご勤務先では、職員一人一人の個性や特技が活かされていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

とてもそう思う だいたいそう思う どちらともいえない あまりそう思わない
まったくそう思わない

II ご勤務先の2歳児の保育についておうかがいします。ご回答の時期にかぎらず、年間を通した傾向でお答えください。

Q9. 2歳児の子どもたちが自由に遊べる時間は、1日トータルでどのくらいですか。

1時間以内 1～2時間程度 2～3時間程度 3時間以上

Q10. 2歳児の子どもたちの戸外での活動・遊びは週にどのくらい行われていますか。

週に1日未満 週に1～2日 週に3～4日 ほぼ毎日

Q11. 2歳児の子どもたちは、自由な遊びの時間に、室内での遊びと戸外での遊びを行き来できますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 子どもが自分で判断して行き来できる
- 保育者に許可を得れば行き来できる
- 子どもが室内か戸外かを決めるが、行き来はできない
- 保育者が室内か戸外かを決める
- その他

Q12. 2歳児の子どもたちは、保育室内の玩具や道具、素材、環境等に対して、自分で選んで使用したり、関わったりできるようになっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

だいたいできる 多少できる あまりできない ほとんどできない

Q13. Q12で「あまりできない」か「ほとんどできない」を選択した方におうかがいします。その理由はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（「だいたいできる」「多少できる」を選んだ方はQ14へ）

年齢・発達的に適切ではないと思うから

- 安全を確保できないなど環境的な理由
- 園の方針だから
- これまでずっとそうだったから
- 片づけが大変だから
- その他

Ⅲ ご勤務先の5歳児の保育についておうかがいします。ご回答の時期にかぎらず、年間を通した傾向でお答えください。

Q14. 5歳児の子どもたちが自由に遊べる時間は、1日トータルでどのくらいですか。

- 1時間以内
- 1～2時間程度
- 2～3時間程度
- 3時間以上

Q15. 5歳児の子どもたちの戸外での活動・遊びは週にどのくらい行われていますか。

- ほぼ毎日
- 週に3～4日
- 週に1～2日
- 週に1日未満

Q16. 5歳児の子どもたちは、自由な遊びの時間に、室内での遊びと戸外での遊びを行き来できますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 子どもが自分で判断して行き来できる
- 保育者に許可を得れば行き来できる
- 子どもが室内か戸外かを決めるが、行き来はできない
- 保育者が室内か戸外かを決める
- その他

Q17. 5歳児の子どもたちは、保育室内の玩具や道具、素材、環境等に対して、自分で選んで使用したり、関わったりできるようになっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- だいたいできる
- 多少できる
- あまりできない
- ほとんどできない

Q18. Q17で「あまりできない」か「ほとんどできない」を選択した方におうかがいします。その理由はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（「だいたいできる」「多少できる」を選んだ方はQ19へ）

- 年齢・発達的に適切ではないと思うから
- 安全を確保できないなど環境的な理由
- 園の方針だから
- これまでずっとそうだったから
- 片づけが大変だから
- その他

IV ご勤務先の行事についておうかがいします。

Q19. ご勤務先の園では以下のような行事がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。どの選択肢もあてはまらない場合は、「どの選択肢もあてはまらない」を選んでください。

- 運動会（あるいは、体を動かすことを主とする行事）
- 生活発表会（あるいは、表現することを主とする行事）
- 保護者の保育参観（保護者は子どもの様子を見るだけ）
- 保護者の保育参加・体験（保護者が保育の中に入り、一緒に活動する）
- 保護者が企画から参加する行事（運動会・発表会等での一部企画も含めて）
- どの選択肢もあてはまらない

Q20. Q19で「運動会」「生活発表会」のいずれか、あるいは両方を選んだ方におうかがいします（選ばなかった方はQ21へ）。それらの行事を行う意義・意図はどのようなものですか。各項目について、「あてはまる」～「あてはまらない」の選択肢の中から1つを選んでください。

（あてはまる—だいたいあてはまる—どちらともいえない—あまりあてはまらない—あてはまらない）

- 子どもが困難な課題を乗り越えること
- 保護者が子どもの成長を知ること
- 子どもが楽しむこと
- 保護者が楽しむこと
- 保育者が楽しむこと
- 保護者に子どもの出来栄を見せること
- 保護者同士が交流する機会
- 保育者と保護者が交流する機会

V 子どもたちの関係性や集団としての育ちについてのお考えをおうかがいします。なお、「関係性や集団としての育ち」とは、必ずしも大人数での活動や遊びができることに限りません。

Q21. 乳幼児期の子どもたちの関係性や集団としての育ちにおいて、以下の各項目はどの程度重要だと思えますか。項目ごとに「あてはまる」～「あてはまらない」の選択肢の中から1つを選んでください。

（あてはまる—だいたいあてはまる—どちらともいえない—あまりあてはまらない—あてはまらない）

- 保育者との愛着が形成されること
- 生活リズムが整うこと
- 基本的な生活習慣（身辺自立）を身につけていること
- 全体に対する指示や話を集中して聴けること

全国私立保育連盟委託研究「子どもの最善の利益を考えた保育集団発達論の調査研究」

研究成果報告書 別紙資料 研究担当者：川田 学（北海道大学）

- 失敗が許容される雰囲気があること
- 一人一人の興味や遊びが保障されていること
- 支度や給食で遅れないように行動できること
- 子どもが「やりたくない」と言いやすい環境があること

Q22. 子どもたちの関係性や集団としての育ちについて、職員の方々に意識的に伝えているお考えや、園として取り組んでいる事（園内研修の内容等）があれば教えてください。特に無い場合は空欄で結構です。（自由記述）

以上